

学校だより



福島県立だて支援学校
NO.1 R4.6.3

校長あいさつ

ようこそ！ 福島県立だて支援学校へ

本校は、「ももの里」として知られる福島県伊達市に、伊達地区（伊達市、国見町、桑折町、川俣町）の皆様、特別支援教育に関わる全ての方々の熱意と情熱により、開校いたしました。本校に一步足を踏み入れるとその関係者全ての方々の思いを感じ取ることができることと存じます。令和4年4月1日開校初日に出勤した教職員の表情は晴れやかであり、更にモチベーションは高く、4月6日に行われる始業式、入学式に想いを馳せ、児童生徒の笑顔を楽しみにその準備を進めました。そしてその日、我々が想像していた以上に児童生徒、保護者の皆さんが待ちに待った笑顔で登校して初日を迎えることができたことは、望外の喜びとなりました。

本校の学校教育目標は、「自ら学び、自ら考え、行動する人」「相手を思いやり、協力し合える人」「健康な心と体を持つ人」とし、目標を達成するために、児童生徒はもちろん、保護者の皆さん、地域の方々、本校に関わる全ての方々に伝え、共有します。

本校のどの子ども、他の人を感動させる力を持っています。「自分らしく」生きるために必要な力を蓄え、自己実現に向けて学びに向かう力を培い、「自分らしく学ぶ」姿勢を確立してほしいと願っています。

今後とも、本校に関わる全ての方々のご期待に応えられますよう、また「地域と共にある学校」となるよう、教職員一同、子どもたちと本気で遊んで、本気で学んで参ります。

福島県立だて支援学校長 本田知史



開校式

5月13日（金）に、福島県知事、福島県議会議員、伊達市長に御臨席頂き、開校式を挙行了しました。児童生徒誓いのことばでは、小学部、中学部、高等部の代表児童生徒が、「新しい校舎に入った時の感想や気持ち」「一ヶ月の学習や生活をしての感想」「これからの抱負や決意」「これからだて支援学校をどうしていきたいのかの思い」等を自分のことばで、堂々と伝えることができました。本当にすばらしかったです。福島県教育委員会教育長をはじめ、御臨席頂いたたくさんの方々から、お褒めのことばを頂きました。

これから始まるだて支援学校の歴史の第一歩にふさわしい、開校式となりました。



入学式

4月6日（水）に第1回の入学式が挙行されました。小学部3名、中学部8名、高等部13名の新入生が新たな学校の一員となりました。新入生を代表し、高等部関根さんが「夢の実現のために努力します。」と力強く、誓いのことばを述べました。また、在校生代表の高等部高橋さんからの「協力し合いながら学校生活を盛り上げていきましょう。」との歓迎のことばを受け、新入生は翌日から始まる学校生活に期待を膨らませていました。保護者や在校生、教職員に見守られ、温かな式となりました。

